



香取で暮らす、香取を楽しむ情報紙

# かとり

Katōri

平成27年(2015) 9月15日号 No.228

優良評価  
85点の壁の向こうへ  
「関ほたる米」



## 高橋 正太さん (関)

実家の米作りを4年前に継いだ。それまでは都内で音楽活動を行い、今もギターやドラムで多数の出演をこなす。消費者からは「ご飯だけでおいしい」と一定の評価を得るも、さらにおいしさを追求。コンテスト出品を目指し、日々試行錯誤している。

# カトリノ郷物語

まだ見ぬ美味しさを語り明かす

vol. 5

15日号は農政課で募集した「香取の逸品」にスポットをあてます

「関ほたる米」は、関地区の地域ブランド米だ。品種は「シヒカリ」。ホタルが飛ぶくらい豊かな自然に恵まれ、米作りに適した土壌で手間暇かけて育てた米をそう呼ぶ。若くして就農し、高橋ファームの「関ほたる米」を手掛けている高橋さんに話を聞くことができた。

「(実家の)米作りは以前からやろうと思っていたんです。でも、まだ先のことだと油断していましたね。音大を出て、

都内で好きな音楽とバイトをしていたある日、帰省すると関地区には

米農家の後継者がいなくて、数年後にはどうなっているか分からない

と聞いたんです。今は元気ですけど、父の体調が良くない時期でもあつ

て、これは自分がやらないと皆辞めちゃうんじゃないかと考えました」

家や地域の実情を案じた末、Uターン就職を決めた高橋さん。

「祖父母が丹精込めた米作りを父が引き継いでいて、それを今度は

俺が任せました。家の人や近所のおじいちゃん達にノウハウを教え

てもらって、最初はやりながら覚える感じでしたね」

それまでも農繁期のたび帰省し、田植えや稲刈りを手伝っていた。

だが、実際に始めてみると戸惑うことも多かったと話す。

「手を抜くと大抵のことは自分に返ってくるんですよ。田んぼでザ

リガニやモグラが開けた穴を黒マルチで囲ってふさぐのを簡単に済ま

せてしまうと、すぐ風で飛ばされる。草取りも早いうちにすれば楽な

のにな。やればいいだけのことなんだから、ちゃんとしないとね」

素直に学び、着実に米作りをものにしていった。そうして年間を通

して手掛けた米を収穫、いざ口にした時の感想を教えてください。

「米が良くできてうれしかった。炊いてみて、おいしいなと思った」

その感動は高橋さんの主観だけではない。

「食味値が84点でした。85点を超えたらコンテストに出せるレベル

なんですけど、あと一歩が難しいんです」

米の「うまさ」を数値化する食味計で84点といえば十分に高品質だ。

標準が70点(計器により数値は若干異なる)。85点以上ともなれば優

良評価に分類される。その優良に迫るのが「関ほたる米」であり、先

達から高橋さんが受け継ぎ、さらなる質の向上を図っている逸品だ。

「まずは85点の壁を超えよう」と研究中です。コンテストで客観的な

評価をもらうって自信にしたいし、よりおいしいお米を作りたいから」

穏やかに話しながらも意気込みが伝わってくる。静かな闘志を燃や

す高橋さんに、最後に一つ、ぶしつけな質問をしてみました。

「米作りを始めてから、他の人のお米を食べてみましたか？」

「もちろんです。食べ比べると、まず匂いが違いますね。ほんのり

甘くてキラキラしてて、やっぱり自分のところがおいしいかな(笑)」

屈託なく返ってくる。それは自身の仕事に誇りと責任を持ち、米作

りに全力を注いでいる人が持つ自然な答えだった。



高橋ファームの「関ほたる米」  
お買い求めは直接買い付けがオススメ。  
電話で「米の注文」と伝えれば、生産者  
が責任を持ってお届けします。  
☎ 0478(54)6276



- 02 肺がん・子宮頸がん検診
- 02 香取市総合防災訓練
- 03 市立幼稚園授業料を改定
- 03 新小学1年生の就学時健康診断

KATORIの逸品